

主催 明治学院大学文学部フランス文学科

共催 同大学言語文化研究所
日本プルースト研究会

2014年5月10日(土)

会場 明治学院大学白金校舎2号館2201番教室

〈発表者〉

齊藤哲也
武田はるか
塚本昌則
澤田直
岩野卓司
合田正人
石川美子
中村隆之
野崎歆

〈司会 & コメンテーター〉

吉川佳英子
湯沢英彦
阿部宏慈
坂本浩也
中野知律
小黒昌文

コロック

プルーストと

20世紀

Paul Valéry Samuel Beckett
Edouard Glissant
Patrick Chamoiseau André Breton
Michel Houellebecq Jean-Paul Sartre
Henri Bergson Roland Barthes Emmanuel Lévinas
Georges Bataille Jean-Philippe Toussaint

コロック『プルーストと20世紀』

企画コーディネーター：湯沢 英彦（明治学院大）
吉川佳英子（京都造形芸術大）

プルーストの『失われた時を求めて』が20世紀に向けて切り開いた地平——その広がりや深さ、その魅力と限界を、プルースト以外の作家や思想家の視点から共同討議するのが本コロックの主旨である。「作品」への、そして「人生」へのプルーストの問いとその言葉が、20世紀文学・思想の第一線の研究者たちによって、さまざまな角度から検討される。いわば20世紀フランスの精神史の地図に、プルーストを軸とした線をあらたに描きこむ試みである。

プルースト関連のコロックとしてはきわめて稀な試みであり、プルースト研究者とそれ以外を専門とする者の、豊かでユニークな知的交歓の場となるだろう。

〈開会挨拶〉
10:30

湯沢英彦

〈午前の部〉
10:35-12:35

司会：吉川佳英子 コメンテーター：湯沢英彦
齊藤 哲也(明治学院大)：記憶の諸相 — プルトンとプルースト
武田はるか(東京大研究員)：声の在処 — プルーストとベケット
塚本 昌則(東京大)：プルーストの夢、ヴァレリーの夢

〈午後の部Ⅰ〉
14:00-16:00

司会：阿部宏慈(山形大) コメンテーター：坂本浩也(立教大)
澤田 直(立教大)：他者の現象学 — プルーストを読むレヴィナス、サルトル
岩野卓司(明治大)：プルーストと供犠 — 『失われた時』のバタイユ流解釈
合田正人(明治大)：哲学と文学の小径 — プルーストと19-20世紀フランスの哲学者たち

〈午後の部Ⅱ〉
16:15-18:15

司会：中野知律(一橋大) コメンテーター：小黒昌文(駒澤大)
石川美子(明治学院大)：〈小説〉を夢みるロラン・バルト
中村隆之(大東文化大)：失われた時のメタモルフォーズ — カリブ海フランス語文学とプルースト
野崎 歆(東京大)：大いなる遺産 — プルーストと21世紀の小説

〈閉会挨拶〉
18:15

吉川佳英子

会場案内(大学HPご参照) およびお問い合わせ先

白金校舎へのアクセス：<http://www.meijigakuin.ac.jp/access/>
キャンパス内案内図：<http://www.meijigakuin.ac.jp/campus/shirokane/>
お問い合わせ先：明治学院大学フランス文学科共同研究室 ☎ 03-5421-5221